

第三章 事業実績

1 A棟

(1) 身体障がい相談・判定

令和5年度の取扱人員は3,344人となっており、前年度から103人(3.1%)の増となっている。その内訳は、身体障がい者手帳や補装具等に係る診断・判定を実施した人員の増102人と、窓口や電話等において相談対応を行った人員の増1人である。

① 取扱人員

1) 取扱内容別

	令和4年度	令和5年度
診断・判定	2,346	2,448
窓口・電話相談	895	896
合計	3,241	3,344

2) 「診断・判定」の障がい・等級別内訳

障がい別		令和4年度								令和5年度							
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	非該当	小計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	非該当	小計
視覚障がい		0	1	0	1	3	1	13	19	1	0	1	0	1	1	15	19
聴覚・平衡機能障がい		7	74	74	294	2	292	22	765	16	69	84	290	2	276	84	821
音声・言語・そしゃく機能障がい		0	0	1	1	0	0	6	8	0	0	1	0	0	0	3	4
肢体不自由		451	210	84	316	298	74	110	1,543	485	240	92	312	268	43	152	1,592
内部障がい	心臓	3	0	2	0	0	0	1	6	2	0	2	1	0	0	1	6
	呼吸器	1	0	1	1	0	0	2	5	3	0	0	0	0	0	3	6
合計		462	285	162	613	303	367	154	2,346	507	309	180	603	271	320	258	2,448

3) 「診断・判定」の区別内訳

	令和4年度							令和5年度						
	視覚	聴覚	音声	肢体	内部		合計	視覚	聴覚	音声	肢体	内部		合計
		平衡	言語		心臓	呼吸器			平衡	言語		心臓	呼吸器	
北 区	0	24	0	41	0	0	65	0	18	0	64	0	0	82
都島区	0	31	1	91	0	0	123	0	34	0	112	0	1	147
福島区	0	15	0	21	0	0	36	0	19	0	26	0	0	45
此花区	0	13	0	42	0	0	55	0	10	0	26	0	0	36
中央区	1	4	1	32	0	0	38	0	19	0	21	0	0	40
西 区	0	12	0	30	0	0	42	0	12	0	28	0	0	40
港 区	0	21	0	28	0	3	52	0	30	0	31	0	1	62
大正区	0	22	0	34	1	0	57	0	19	0	43	1	0	63
天王寺区	0	16	0	35	0	0	51	0	15	0	28	0	1	44
浪速区	1	19	0	32	0	0	52	0	15	0	35	0	0	50
西淀川区	0	22	0	105	0	0	127	0	26	0	137	0	0	163
淀川区	0	48	0	106	0	0	154	0	40	0	73	0	0	113
東淀川区	0	52	0	81	0	0	133	0	49	0	81	0	0	130
東成区	0	18	0	30	0	0	48	0	18	0	38	0	0	56
生野区	1	53	0	75	0	0	129	0	55	0	60	0	0	115
旭 区	0	29	1	115	2	0	147	0	30	0	83	1	0	114
城東区	0	53	0	104	1	0	158	0	51	1	117	0	0	169
鶴見区	0	27	0	70	0	0	97	0	36	0	59	0	0	95
阿倍野区	0	35	0	47	0	0	82	0	32	1	48	0	0	81
住之江区	1	42	0	53	0	0	96	3	37	0	64	1	2	107
住吉区	2	44	1	82	1	0	130	0	60	0	90	0	0	150
東住吉区	0	39	2	66	0	2	109	1	57	0	102	0	1	161
平野区	10	84	1	137	0	0	232	14	86	1	152	2	0	255
西成区	3	42	2	85	1	0	133	1	53	1	74	1	0	130
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	765	9	1,542	6	5	2,346	19	821	4	1,592	6	6	2,448

② 相談・指導件数（重複件数含む）

	令和4年度	令和5年度
更生医療	582	591
補装具	2,253	2,447
手帳	330	293
通所	16	12
年金	44	0
心理	72	42
理学	76	101
その他	2	26
合 計	3,375	3,512

※「手帳」には、診断には至らなかった相談のみの件数を含む。

※「その他」には、診断には至らなかった医療相談等を含む。

③ 診断・判定状況（重複件数含む）

1) 診断・判定件数

	令和4年度	令和5年度
更生医療	582	591
補装具	3,077	2,806
手帳	330	293
通所	16	12
年金	44	0
心理	72	42
理学	76	101
その他	2	26
合計	4,199	3,871

※「補装具」には、適合判定のみ実施した件数を含む。

2) 診断・判定内訳

ア. 自立支援医療（更生医療）

障がい種別	判定書発行件数			
	令和4年度		令和5年度	
		内書類判定分		内書類判定分
視覚障がい	0	0	1	1
聴覚障がい	9	7	7	7
肢体不自由	566	564	576	576
その他	2	2	7	7
合計	577	573	591	591

※ 平成21年7月1日から書類判定も実施。

イ. 補装具

障がい種別	補装具の種類	令和4年度		令和5年度	
			内書類判定分		内書類判定分
視覚障がい	眼鏡	0	0	0	0
聴覚障がい	補聴器	747	708	801	772
肢体不自由	義手	12	0	13	0
	義足	108	0	104	0
	下肢装具	255	1	256	0
	体幹装具	1	0	3	0
	上肢装具	3	0	0	0
	座位保持装置	57	0	82	0
	車椅子	266	115	317	120
	電動車椅子	68	0	90	0
	歩行器	2	0	0	0
	起立保持具	0	0	0	0
	その他	61	11	39	9
	小計	833	127	904	129
内部障がい	車椅子	1	0	2	1
	電動車椅子	0	0	1	0
	小計	1	0	3	1
合計	合計	1,581	835	1,708	902

※ 当センターでの実判定件数のため、表②・③-1)とは一致しない。

④ 重度肢体障がい者等訪問診断

1) 診断人員（巡回型）

ア. 区別

	令和4年度	令和5年度
北 区	6	1
都 島 区	12	9
福 島 区	2	5
此 花 区	8	9
中 央 区	5	1
西 区	7	10
港 区	22	28
大 正 区	7	14
天 王 寺 区	0	0
浪 速 区	2	0
西 淀 川 区	7	22
淀 川 区	26	27
東 淀 川 区	61	57
東 成 区	0	3
生 野 区	0	0
旭 区	11	19
城 東 区	39	51
鶴 見 区	18	16
阿 倍 野 区	0	0
住 之 江 区	0	4
住 吉 区	1	0
東 住 吉 区	0	1
平 野 区	0	0
西 成 区	0	4
合 計	234	281

イ. 実施エリア

	令和4年度	令和5年度
東部（城 東 区）	85	97
西部（港 区）	61	88
北部（東淀川区）	88	96
合 計	234	281

ウ. 原疾病別

	令和4年度	令和5年度
脳 血 管 障 がい	103	108
骨 関 節 疾 患	1	4
リウマチ性疾患	0	0
脳 性 ま ひ	35	54
頭 部 外 傷	2	7
糖 尿 病 性 疾 患	13	24
パーキンソン症候群	1	0
筋萎縮性側索硬化症	2	0
老人性機能低下	0	0
そ の 他	77	84
合 計	234	281

エ. 等級別

	令和4年度	令和5年度
1 級	130	136
2 級	58	68
3 級	13	32
4 級	26	42
5 級	6	3
6 級	1	0
そ の 他	0	0
合 計	234	281

2) 診断人員（訪問型）

ア. 区別

	令和4年度	令和5年度
北 区	3	2
都 島 区	5	3
福 島 区	1	3
此 花 区	1	1
中 央 区	3	0
西 区	1	5
港 区	1	1
大 正 区	1	1
天 王 寺 区	2	0
浪 速 区	2	2
西 淀 川 区	1	1
淀 川 区	6	5
東 淀 川 区	3	12
東 成 区	4	1
生 野 区	5	5
旭 区	2	1
城 東 区	10	5
鶴 見 区	5	3
阿 倍 野 区	3	4
住 之 江 区	1	6
住 吉 区	4	5
東 住 吉 区	5	6
平 野 区	13	12
西 成 区	4	0
合 計	86	84

エ. 年齢別

	令和4年度	令和5年度
39歳～39歳	14	20
40歳～64歳	26	33
65歳～74歳	14	10
75歳～75歳	32	21
合 計	86	84

カ. 診断・判定内容（重複件数含む）

	令和4年度	令和5年度
補 装 具	43	54
手 帳	43	30
特障手当等	0	0
医療相談等	0	0
合 計	86	84

イ. 原疾病別

	令和4年度	令和5年度
脳 血 管 障 がい	30	25
骨 関 節 疾 患	0	0
リウマチ性疾患	1	0
脳 性 ま ひ	22	27
頭 部 外 傷	4	4
糖 尿 病 性 疾 患	0	0
パーキンソン症候群	1	0
筋萎縮性側索硬化症	10	10
老人性機能低下	1	0
そ の 他	17	18
合 計	86	84

ウ. 等級別

	令和4年度	令和5年度
1 級	78	81
2 級	6	2
3 級	0	0
4 級	0	1
5 級	0	0
6 級	0	0
非 該 当	2	0
合 計	86	84

オ. 訪問場所内訳

	令和4年度	令和5年度
自 宅	12	12
病 院	47	32
施 設	27	40
そ の 他	0	0
合 計	86	84

※ 一度の訪問で同時に複数の判定を行う場合があるためア～オの合計とは一致しない。

(2) 知的障がい相談・判定

令和5年度における取扱件数（手帳交付判定＋生活相談）は3,598件で、前年度に比べ208件（6.1%）の増。手帳交付判定のうち、新規は前年度に比べ7件（1.1%）の増。更新は203件（7.3%）の増となった。（表①-1）参照

① 手帳交付判定・生活相談取扱件数

1) 判定方法別取扱件数

判定方法		令和4年度					令和5年度				
		来所	訪問	書類	取下げ	合計	来所	訪問	書類	取下げ	合計
手帳 交付	新規	362	10	196	44	612	289	9	272	49	619
	更新	649	43	2,076	7	2,775	558	49	2,354	17	2,978
生活相談		2	0	0	1	3	1	0	0	0	1
合計		1,013	53	2,272	52	3,390	848	58	2,626	66	3,598

※新規来所判定において、令和4年度は104件、令和5年度は126件の医学的判定を実施。

（参考）年度別手帳交付判定・生活相談件数



2) 各区分取扱件数

	令和4年度	令和5年度		令和4年度	令和5年度
北区	84	94	東淀川区	225	249
都島区	111	91	東成区	94	108
福島区	48	55	生野区	196	187
此花区	70	87	旭区	128	132
中央区	52	58	城東区	159	180
西区	62	65	鶴見区	152	183
港区	122	137	阿倍野区	114	113
大正区	100	105	住之江区	187	185
天王寺区	57	64	住吉区	183	189
浪速区	88	80	東住吉区	228	248
西淀川区	125	121	平野区	400	386
淀川区	176	189	西成区	229	292
			合計	3,390	3,598

3) 訪問判定にかかる訪問先

	令和4年度	令和5年度
区役所	22	22
家庭	11	18
施設等（市内）	9	11
施設内（市外）	11	7
合計	53	58

② 検査結果等交付件数

	令和4年度	令和5年度	
検査結果	270	344	※本人、保護者、支援者等からの依頼。
心理判定所見	15	8	※本人、保護者、支援者等からの依頼。
特別障がい者手当	144	171	※区役所からの依頼。
知的障がい程度	30	16	※公共職業安定所からの依頼。
判定記録	158	113	※他知更相からの依頼。
その他	32	33	※警察、裁判所等からの依頼及び生活相談意見書。
合計	649	685	

③ クリニック事業（みかんの会）

	令和4年度	令和5年度
会員数	8名	6名
行事回数	0回	4回
延参加者数	0名	9名
平均行事参加者数	0名	2.3名

※令和4年度について、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため活動を休止。『みかん通信』（第1号～第5号）を作成し会員向けに発信。会員の生活状況を把握するため、電話や会員が通所する事業者への訪問等を適宜行った。

※令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられたことにより、感染防止対策（3密の回避、手洗い、こまめな換気等）に努めながら4回の活動を実施した。

(3) 発達障がい者支援

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）

発達障がい者支援センターでの相談支援・発達支援について、実支援人数における未就学児（0～6歳）の割合は前年度に引き続き、1割未満に留まっている。これは、各区保健福祉センターにおける相談機能の強化や発達障がい児専門療育機関の利用、あるいはペアレント・トレーニング等の親支援講座の実施など、早期発見～早期支援に向けた取組みの充実によるものと考えられる。

① 相談支援・発達支援・就労支援

1) 支援区分別

		令和4年度	令和5年度
相談支援	実支援人数	577	521
発達支援	延支援回数	1,966	1,761
相談支援	実支援人数	182	182
就労支援	延支援回数	831	820

2) 相談支援・発達支援人数の年齢区分

	令和4年度	令和5年度
幼児期前期)	3	4
幼児期後期)	14	11
(小学校)	78	60
(中学校)	40	38
18歳	34	27
39歳	243	228
以上	165	153
計	577	521

3) 相談支援・就労支援人数の年齢区分

	令和4年度	令和5年度
18歳以下	5	6
18～39歳	125	118
40歳以上	52	58
不明	0	0
合計	182	182

② 啓発・研修

	令和4年度		令和5年度	
	地域住民等	関係機関等	地域住民等	関係機関等
実施回数	175	146	171	160
延参加人数	1,668	1,421	1,888	1,674

③ 機関連携・機関支援

1) 本人・家族・関係機関等を交えての会議

		令和4年度	令和5年度
調整会議	相談支援・発達支援に伴う情報共有等	112	140
実施回数	就労支援に伴う情報共有等	99	131

2) 依頼に基づく関係機関職員等への助言や情報提供

		令和4年度	令和5年度
機関コンサルテーション	相談支援・発達支援に伴う 関係機関職員への助言回数	6	7
	就労支援に伴う 関係機関職員への助言回数	1	5

④ 地域サポート体制の強化（②啓発・研修 再掲）

1) 親支援講座

		令和4年度	令和5年度
ペアレント・トレーニング	実施回数	112	111
	延参加者数	793	851
発達障がい基礎講座	実施回数	20	20
	延参加者数	745	875
ソーシャルスキル講座	実施回数	6	6
	延参加者数	96	119

2) 支援者講座

		令和4年度	令和5年度
集合研修	実施回数	29	31
	延参加者数	871	1,023
機関コンサル テーション	出前研修	実施回数	6
		延参加者数	77
	訪問支援	実施回数	110
		延参加者数	323
成人支援講座	実施回数	21	
	延参加者数	248	

発達障がい児専門療育機関事業

令和5年度においても、引き続き6機関定員280名で児童への個別的・専門的な療育と保護者の研修を実施している。

療育機関名称	令和4年度	令和5年度
委託法人名	定員	
児童デイサービスセンターan（淀川区）	280	280
社会福祉法人 北摂杉の子会		
大阪市更生療育センター（平野区）		
社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会		
bonキッズ谷町（天王寺区）		
合同会社 オフィスぼん		
bonキッズ北堀江（西区）		
合同会社 オフィスぼん		
じらふ長居（住吉区）		
社会福祉法人 ライフサポート協会		
あさしお園（港区）		
社会福祉法人 愛徳福祉会		

(4) 診療各科の診断・判定（相談）

① 障がい児療育相談事業

障がい児療育相談事業では、以前は未歩行など運動発達に関する相談が多く寄せられていたが、近年は発達障がい（疑い含む）の相談が大半を占め、就学前の乳幼児の相談は全て本事業で実施している。

1) 取扱件数（延件数）

	令和4年度	令和5年度
新規	79	122
再診	319	165
PT指導	10	46
その他	1,313	1,174
合計	1,721	1,507

※その他には電話件数を含む。

2) 新規内訳

ア. 年齢別

	令和4年度	令和5年度
6か月未満	0	5
6か月以上1歳未満	1	3
1 歳	0	0
2 歳	0	0
3 歳	18	29
4 歳	42	48
5 歳	18	33
6 歳	0	4
7 歳 以上	0	0
合計	79	122

※原則、就学前の乳幼児対象。

イ. 障がい別

	令和4年度	令和5年度
肢体不自由	1	8
知的障がい	0	0
発達障がい	78	114
重複障がい	0	0
その他	0	0
合計	79	122

※その他とは、上記4項目以外のもの、検査等の結果異常が認められたもの。

②発達相談診査事業

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）からの依頼により実施した発達障がい一次診断者延べ人数

	令和4年度	令和5年度
0歳～3歳	0	0
4歳～6歳	0	0
7歳～12歳	5	7
13歳～15歳	2	4
16歳～18歳	1	1
19歳	4	2
20歳～29歳	7	5
30歳～39歳	7	3
40歳～49歳	2	2
50歳～59歳	4	5
60歳以上	0	0
合計	32	29

③障がい者健康診査事業

1) 検査実施件数

		令和4年度	令和5年度
取扱実人員		497	467
必須検査		497	467
選択検査	心電図	38	42
	四肢等X線	0	0
	肝炎ウイルス	24	25
合計		559	534

※必須検査：問診・身体測定・理学的検査・血圧測定・血液検査・検尿・貧血検査・胸部X線撮影

2) 年齢別

	令和4年度	令和5年度
19歳以下	23	22
20歳～29歳	147	147
30歳～39歳	137	135
40歳～49歳	85	70
50歳～59歳	78	68
60歳以上	27	25
合計	497	467

3) 手帳種別

		令和4年度	令和5年度
身体障がい者		25	25
療育		270	242
精神障がい者保健福祉		50	55
重複所持	身体+療育	110	106
	身体+精神	5	7
	療育+精神	26	21
	身体+療育+精神	11	11
合計		497	467

4) 総合判定

	令和4年度	令和5年度
異常なし	69	61
要観察	97	65
要指導	145	161
治療中	158	169
要医療	28	11
判定不能	0	0
合計	497	467

④臨床検査事業

1) 生理検査（重複件数含む）

		令和4年度	令和5年度
取扱実人員		236	231
内 訳	脳波（EEG）	7	6
	聴覚脳幹反応（ABR）	9	10
	心電図（ECG）	38	41
	純音検査	51	47
	語音明瞭度	36	33
	オートレフラクトメーター	19	23
	視力検査	30	22
	視野検査	17	23
	発達検査	85	115
合計		292	320

2) 検体検査（重複件数含む）

		令和4年度	令和5年度
取扱実人員		493	463
内 訳	血液学的検査	489	457
	一般生化学検査	489	457
	血清学的検査	24	26
	一般検尿	489	462
合計		1,491	1,402

3) X線検査（重複件数含む）

	令和4年度			令和5年度		
	撮影件数	データ 持込件数	合計	撮影件数	データ 持込件数	合計
整形外科	0	156	156	1	113	114
内科	454	3	457	466	7	473
その他	55	9	64	55	14	69
合計	509	168	677	522	134	656

⑤診療件数等

1) 保険診療件数

	令和4年度	令和5年度
療育相談 (小児科)	288	281
発達相談 (精神科)	62	62
その他	0	0
合計	350	343

2) 手数料収入件数

	手数料種別	令和4年度	令和5年度
療育相談 ・発達相談	診断書	100	142
	年金	0	0
障がい者 健康診査	診断書	11	9
合計		111	151

(5) 啓発・研究・研修

① 啓発事業

1) 市民啓発事業（公開講座）

令和5年度は動画配信にて実施。

配信開始：令和5年12月20日（水）から

URL：<https://youtu.be/9iC-c20jzKc?si=aIEU74qt2Znd46kd>

内容：きょうだい児支援と出会ったこどもたち

講師：NPO法人 しぶたね

理事長 清田 悠代 氏

プログラムディレクター シブレット 氏

視聴回数：485回（令和6年9月3日時点）

2) 車いす・アイマスク体験講習会

ア. 実施件数

講習内容		令和4年度				令和5年度				
		車いす		アイマスク		車いす		アイマスク		
実施件数		162		4		153		6		
学校数		141		4		134		6		
クラス・参加人数		クラス数	参加人数	クラス数	参加人数	クラス数	参加人数	クラス数	参加人数	
内 訳	小学校	1・2年生	0	0	0	0	0	0	0	
		3年生	113	3,248	0	0	110	2,850	2	47
		4年生	133	4,216	6	170	146	4,292	9	262
		5年生	49	1,364	0	0	37	1,099	2	56
		6年生	6	196	0	0	14	386	0	0
	中学校	27	975	5	181	19	674	0	0	
一般		0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		328	9,999	11	351	326	9,301	13	365	

イ. 車いす体験講習会区別実施件数

	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区
令和4年度	7	4	4	4	4	1	3	7
令和5年度	3	3	1	3	1	6	1	2
	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区
令和4年度	5	2	4	5	7	7	12	8
令和5年度	5	2	4	6	13	8	14	6
	城東区	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区
令和4年度	10	9	9	11	9	10	19	1
令和5年度	12	7	8	10	11	9	16	2

ウ. 体験後の感想 (感想文より一部抜粋)

・ 自走体験(自分で乗ってみて)

「車いすに乗ってみて、段差や坂が怖かったです。足とかが不自由な人は乗り降りするのが大変なんだと気づけました。体験させてくれてありがとうございます。」

「2センチの段差は、歩いていると全然気づかなかったけど車いすで通ると全然登れないことに気づきました。」

「車いすに乗っている人は毎日今日みたいなことが続いたら大変だなーと思った。」

・ 介助体験 (車いすを押してみて)

「坂道を下りるとき、後ろ向きになったりして大変なことが分かった。」

「車いすを押すのにこんなに力があるとは思いませんでした。腕が痛くなりました。」

・ 介助体験 (車いすを押してもらって)

「ふだんにげなく下りていた約 10cm のだんさが車いすで下りるとすごくこわいことが分かりました。」

「車いすを押してもらって親切の気持ちが分かった。自分が友達を乗せたときは親切の気持ちが相手に伝わっているんだな。」

・ 車いす体験を通して感じたこと、考えたこと

「車いすに乗っているときはとても怖かったです。乗るときはとても信頼している同士じゃないとだめなんだなと思いました。車いすに乗っている人は、お互いに信頼しているんだなと思いました。」

「今は学校内だけど、町とかになったら車いすの人はとても苦労しているだろうなあと思いつきました。」

「自分の足で歩けることがどんなに幸せか分かりました。障がいのある人がいたら声をかけて手伝おうと思いました。」

② 研究活動 (A 棟 2 階 援助技術研究室)

1) 相談事業

相談件数

	延相談件数	令和4年度	令和5年度	
			2652	3325
相談事業	ア 一般相談	118	117	
	イ 専門相談	2534	3208	
	(内、訪問相談)	(219)	(166)	
	内訳	補装具	1817	2107
		(内、訪問相談)	(120)	(96)
		福祉機器	484	790
		(内、訪問相談)	(74)	(50)
		住宅増改築	233	311
	(内、訪問相談)	(25)	(20)	
	専門相談実人数	1052	1345	

2) 専門相談の内容

ア. 補装具 (人数=実人数、件数=件数、訪問=内訪問件数)

	令和4年度			令和5年度		
	人数	件数	訪問	人数	件数	訪問
車椅子 (以下、内訳)	155	612	49	212	727	35
(電動車椅子)	84			85		
(手動車椅子)	26			34		
(介助用車椅子)	45			93		
座位保持装置	141	598	48	222	794	42
重度障がい者用意思伝達装置	50	206	13	33	125	15
その他	216	401	10	302	461	4
合計	562	1817	120	769	2107	96

※ 補装具合計の内、実人数については対象となる補装具 (車椅子と座位保持装置の組み合わせ仕様等の場合) に重複があるため、各補装具の合計とは異なる。

イ. 福祉機器 (人数=実人数、件数=件数、訪問=内訪問件数)

	令和4年度			令和5年度		
	人数	件数	訪問	人数	件数	訪問
パソコン関連	29	92	12	32	131	4
ベッド関連	22	65	16	49	156	7
自助具類	22	106	15	26	112	8
移乗機器	12	42	8	41	127	7
入浴関連	22	75	9	24	80	8
排泄関連	21	78	10	38	99	10
衣服	0	0	0	2	12	2
その他	8	26	4	22	73	4
合計	136	484	74	234	790	50

ウ. 住宅増改築

	令和4年度			令和5年度		
	人数	件数	訪問	人数	件数	訪問
玄関・廊下・階段	15	72	9	16	77	7
浴室	3	43	4	2	67	4
トイレ	21	61	8	42	105	6
その他	15	57	4	14	62	3
合計	54	233	25	74	311	20

3) 普及事業

普及事業実績

		令和4年度	令和5年度
セミナー	件数	13	13
	対象延人数	816	238
アドバイザー	件数	389	483

※ その他、自由参加方式のため視聴者数（受講者数）は把握できていないが、オンライン・オンデマンド形式にて多数普及活動を実施。

③ 研究紀要の発行

リハビリテーションセンター研究紀要第37号を令和5年9月発行。掲載内容は以下のとおり。

【論説】

- ・難病の利用者への福祉用具支援サービスにおける協働プロセス
～内発的動機づけと自己決定理論からみる課題分析と、支援マネジメントへの反映～
- ・大阪市補装具・福祉機器普及事業の今後の課題について①
～29年間の事業モニタリング評価結果に基づく今後の事業計画提案～

【報告】

- ・大阪市補装具・福祉機器普及事業の今後の課題について②
- ・大阪市における重度肢体障がい者訪問診断の実態～これまでの調査、報告との比較～
- ・大阪市更生療育センター入所者の排泄状況について
- ・障害者就業・生活支援センターの役割を考える～障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会をふまえて～

④ 研修事業

1) 研修参加者数

		令和4年度	令和5年度
A棟	相談課	198	171
	管理課	21	19
B棟 【更生療育センター】	更生部門	131	240
	療育部門	189	196
C棟 【職業リハビリテーションセンター】		36	47
合計		575	673

※ 相談課：障がい者福祉担当職員研修（局主催を除く）

※ 管理課：新配属者職員研修会

※ B棟：教育実習

※ C棟：就労支援研修等

2) 見学者数（延人数）

		令和4年度	令和5年度
B棟 【更生療育センター】	更生部門	0	181
	療育部門	89	103
C棟 【職業リハビリテーションセンター】		367	381
リハビリテーションセンター 総見学者数		456	665